

まず! やってみる! 新聞

守屋もとのり後援会
2024年2月3日発行
(内部討議資料)

2024年龍のごとく立ち上がる時

2023年12月31日付で笠岡市役所を退職し、2024年辰年は新たな人生の挑戦の年として「守屋もとのり後援会」を1月1日に組織し、1月4日県の選管に登録後、政治活動をスタートさせました。

そして、1ヶ月が経過し、皆様のご協力により本日「事務所開き」が実施出来る事に感謝申し上げます。

この1ヶ月を振り返り、思うがままに書かせていただきます。ご笑読いただければ幸いです。



市政に挑戦する想い

私は37年9か月の市役所職員として、絶えず地域に軸足を置きながらひたむきに仕事をさせていただきました。笠岡市職員としてというよりも地域の方々と同じ市民として汗を流して来た自負があります。しかし、それは単なる自己満足にすぎません。市民の皆さんが本当に笠岡市に住んで良かったと想える地域づくりを進めることが肝要です。先日、大先輩からいただいた言葉を紹介させていただきます。

市役所の仕事と民間の仕事の違い!

・光の当たらないところに光を当てて寄り添いながら共に方向性を見出す営みこそが市役所の仕事

・光の当たるところに、より光を当て利益を出す。そして、不採算部門は早めに見切りをつけるのが民間。主が利益誘導。

手段と目的をはき違えることなく!

・お金が無いと何もできないかもしれませんが、お金を儲けるのが目的ではなく、明確な目標があってそれを実現する手段としての経済活動であるべき。

この言葉を胸に、市役所職員から新たなステージへと進み、市民の皆さんと共に「住んで良かった笠岡」と思っていただけのように共に汗を流しながら目的に向かって精進したいと考えています。

まず! やってみる!



守屋もとのり

東大戸・小平井・春日台と回らせていただきました。

地元を知らないというのを再確認する日々でした。

新しく出来た団地もありましたが、やはり何処とも耕作放棄地の問題やイノシシ対策の声が多く聞かれました。そして、これまであまり参加していなかったとんど行事にも参加させていただき、世代を超えた季節行事が盛大に行われていることを凄く嬉しく想い、コロナ禍で失いかけた地域の絆を大切にしたいという想いが沸きました。



感じた事

・笠岡市の行政情報について、ホームページ等に掲載されてはいるものの、特に高齢の方については見るすべもなく、何処に聞いていいかもわからないのが現状→高齢者等に使えるアナログの情報伝達手段が必要。地域のサロンの集まりの中での情報提供など。

・地域の中小企業の人手不足→定年後自宅で過ごしていらっしゃる方とのマッチング

・地域の困りごと対策→草刈り等地域内の有償での仕事づくり。顔の見える関係性での遣り甲斐、相互感謝

2024年1月アルバム

これまでの活動を行いながらのあっという間の1ヶ月でした。



1月2日 書初め

1月4日 仕事始め

1月5日 大仙院縁日

1月11日 六島まち協



1月13日 大井とんど祭

1月14日 吉田日曜朝市

1月29日 事務所設置

1月30日 ぼうさい教室

能登半島地震と日航機の事故について

1月1日の能登半島地震、1月2日の日航機と自衛隊輸送機の衝突炎上事故と新年から立て続けに大きな災害・事故が続きました。被災された方々、事故や地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。

さて、この2つの出来事です。本当に対照的な出来事であったと感じます。震災に関しては日常的な防災の取り組みの甘さ、耐震補強の不十分さが指摘される一方、日航機の乗務員による日ごろからの訓練の成果であるような大惨事に関わらず1人の犠牲者も出さなかったことは大いに評価されることだと思います。

他人ごとではないという想いを強くした人も少なくないと思います。

史料によると、岡山でも昭和南海トラフ地震で多くの津波による死者を出している事実があると正月の山陽新聞に掲載されていました。

自分事として、地域防災を考えて、取り組みを重ねていくことが必要です。

守屋もとのり後援会事務所

笠岡市東大戸2451-3

☎ 090-5374-1333



今後の予定

2月16日 市長・市議選候補予定者説明会
(後援会定例会議 毎週火曜日)

自宅上に後援会事務所を設置しました。地域の方々に支えていただき、ここを拠点として今後の活動を展開させていただきます。何かとご迷惑をおかけすると思いますがお気軽にお立ち寄りいただき、皆様との「対話」を大切に、目標に向かって、ひとつづつハードルを越えていく所存です。益々のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いします。



六島水仙だより

今年の六島の水仙は約1ヶ月遅れの開花予想。見頃は2月末から3月始めの模様です。